

## ドイツ語動詞umsetzenの用法の推移 : DWDS 中核 コーパスの用例に基づく

恒川, 元行  
九州大学大学院言語文化研究院

<https://doi.org/10.15017/4773112>

---

出版情報 : 言語文化論究. 48, pp.75-83, 2022-03-17. Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University  
バージョン :  
権利関係 :

# ドイツ語動詞 *umsetzen* の用法の推移

— DWDS 中核コーパスの用例に基づく —

恒 川 元 行

## 1. 本稿の目的

ドイツ語動詞 *umsetzen* には、この動詞が「実施に移す、実行する」を表す場合に、本来直接的に「実施・実行」を意味する前置詞句 *in die Praxis/Tat* を伴う場合と（以下、付随用法と呼ぶ）、伴わない場合、すなわち動詞単独だけでも同じ意味を表す場合（以下、非付随用法）とがある。たとえば、次例ではいずれも「計画を実施に移す」が表されているが、前者は前置詞句 *in die Tat* を伴う付随用法、後者は伴わない非付随用法である。

*Dieser Plan ist in die Tat umgesetzt worden.* (0886 1953/11/18 Zeitung<sup>1</sup>)

Nur mit Fingerspitzengefühl läßt sich deshalb *der Plan* des Air-France-Chefs Jean-Cyril Spinetta *umsetzen*, den Staatsanteil auf künftig 53 Prozent zu senken. (1636 1998/2/26 Zeitung)

このうち後者の非付随用法は、近年、数が増えているという印象がある。本稿では、この「印象」を確認すべく、DWDS 中核コーパス<sup>2</sup>を用いて *umsetzen* の事例を抽出・収集し、20世紀のドイツ語の展開の中でこの付随用法と非付随用法がどのように推移してきたかを、明らかにしようとする試みを行った。

ただ、付随用法では、「実施に移す、実行する」を表す前置詞句が *in die Praxis/Tat* だけでなく、後述のようにさまざまなバリエーションを伴って多種多様であり、どこまでがこの意味範囲に属する前置詞句か明確ではなく、また非付随用法では、前置詞句が伴っていないことからなおいっそう「実施に移す、実行する」の意味範囲の確定に迷うことが多かったため、本稿は概略的・暫定的な報告にとどまっていることを最初にお断りしておきたい。それにもかかわらず、本稿は付随用法・非付随用法の使用実態や推移を一定程度明確にすることができたのではないかと考えている。

## 2. 事例の抽出

### 2.1 事例抽出のための検索式

*umsetzen* の事例を抽出するための検索式は次のとおりである：

`umsetzen || "setzen #15 um with $p=PTKVZ"`

この検索式冒頭の *umsetzen* は、この動詞の非分離状態での各変化形を検索・抽出するためのものである。これにより抽出される *umsetzen* の事例には、u が大文字書きされる場合（文頭の場合や中性名詞化<sup>3</sup>）も含まれる。

これに対し、記号「||」の右側部分は、分離状態で用いられている事例を検索するための検索式である。DWDS では各語形に文法タグが付されており、分離動詞前綴りの *um* を指定して抽出することができる（「with \$p=PTKVZ」）。また、「#15」は、*um* の出現位置が基礎動詞 *setzen*（の各変化形）に後続する「15語以内」の範囲であることを指定している。<sup>4</sup>

## 2.2 検索の結果

### 2.2.1 抽出事例数

上記の検索式により検索した結果、抽出数は1715例となった。<sup>5</sup>このうち、事例0986（1959/12/31 Belletristik）には *umsetzen* が2回出現しているため、これを0986a/bに分けた。そのため、本稿での分析・分類対象事例数は1716例である。

この1716例の中にはしかし、まだ除外すべき事例が含まれている。まずは、*um* が別動詞の分離前綴りである事例の除外が必要である。上記検索式の範囲指定「#15」は比較的広いため、結果として少数（19例）ながら、一文中に異なる動詞が2つ以上含まれる事例も拾われてしまうためである。<sup>6</sup>たとえば次の例は *hinsetzen* と *umsehen* の連続であり、*umsetzen* の事例ではない。

Er **setzt** sich ruhig **hin** und **sieht** sich im Kreis **um**. (0485 1934/12/31 Belletristik)

さらに、*umsetzen* がメタ言語的に哲学辞典の語義説明として用いられている1例（0148 1910/12/31 Wissenschaft）、また非分離動詞の *umsetzen* 「周りを囲む」の1例（0080 1905/12/31 Belletristik）も対象外として除外した。

以上の合計21例の除外により、本稿で対象とした事例数は1695例となった。

### 2.2.2 抽出事例の統語形式

*umsetzen* には再帰用法もあるため、本稿で扱った事例の統語形式は以下の3種類である。

#### 4格 + *umsetzen*

Zu meinem großen Erstaunen hat er *diesen Vorschlag* dann in die Tat *umgesetzt*. (1433 1986/12/31 Belletristik)

#### *sich umsetzen*

Heilpädagogische Einflüsse ... müssen ... *sich* zu irgendeinem Zeitpunkt in echte Vornahmen *umsetzen*. (1092 1967/12/31 Wissenschaft)

#### *das Umsetzen*（動詞 *umsetzen* の中性名詞化）

Politikberater sollen nur Empfehlungen geben, *das Umsetzen* ihrer Ideen müssen sie anderen überlassen (1686 1999/5/12 Zeitung)

### 2.2.3 抽出事例の分布

DWDS 中核コーパスは、それぞれの時代のドイツ語を代表する均衡コーパスであることを担保するため、テキストが意識的に1世紀にわたり各時代区分から、異なる4つのテキスト種（文学 *Belletristik*、実用文 *Gebrauchsliteratur*、科学 *Wissenschaft*、新聞 *Zeitung*）を考慮して選択されている。上記抽出事例1695の分布を、10年ごとの時代区分および4つのテキスト種に振り分けて示せば、次表のとおりである。

表1：抽出事例の分布

	事例数	Bell	Gebr	Wiss	Zeit
1900-1909	138	25	16	65	32
1910-1919	115	13	19	29	54
1920-1929	143	5	50	26	62
1930-1939	160	23	25	59	53
1940-1949	294	5	52	178	59
1950-1959	125	6	52	37	30
1960-1969	126	3	36	55	32
1970-1979	203	6	45	70	82
1980-1989	148	11	36	51	50
1990-1999	243	13	77	72	81
	1695	110	408	642	535

## 2.4 事例の意味分類と集計

### 2.4.1 L-DaF の意味区分

動詞 *umsetzen* には、「実施に移す、実行する」だけでなく、辞書記述ではふつう6通りほどの語義が区別されている。たとえば、*Langenscheidt Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache, Neubearbeitung 2019*（以下 *L-DaF* と略す）では、以下の順で6語義がそれぞれの統語情報と共に示されている：

- 1 *etwas (in die Praxis/Tat) umsetzen* [実行に移す、実施する]
- 2 *etwas umsetzen* [商品を売る]
- 3 *jemanden umsetzen* [ある人を別の場所に移す]
- 4 *etwas umsetzen* [何かを別の場所に植える、移す]
- 5 *etwas in etwas (Akkusativ) umsetzen* (口語) [何かを何かと交換する]
- 6 *etwas in etwas (Akkusativ) umsetzen* [何かを何か別のものに変える、変換する]

次の作業は、したがって、抽出された1695の事例それぞれの語義の確認と分類、特に「実施に移す、実行する」を表す *umsetzen* の付随用法と非付随用法の抽出である。これには、それぞれの事例がどのような意味で用いられているのかをひとつずつ検討する作業が必要となる。本稿では、この作業を、主として上記 *L-DaF* の語義分類、また補助的に『独和大辞典』の記述を参考にして行った。次節では、順次この結果を報告する。なお、以下の語義[1]～[6]はこの *L-DaF* の区分に対応している。

### 2.4.2 語義[1]の分類事例

今回の事例抽出・分類で明らかになったことは、まず、すでに冒頭で触れたように、付随用法の前置詞句には辞書の示す *Praxis*、*Tat* 以外にも若干の類義名詞が用いられていること、また修飾要素を含めた多種多様な表現バリエーションが存在することである。そのため、語義[1]に分類されると考えられる付随用法の事例を、さしあたりの試みとして、単数形の基礎名詞からなる中核的な1/a/グループと、同じ名詞（または意味的に近接した類似の名詞）が複数形や修飾成分を伴って用いられている周縁的な1/b/グループに分類した。

#### 2.4.2.1 付随用法(1)：中核的な1/a/グループ

表2：1/a/グループの事例—分布と頻度—

	事例数	Bell	Gebr	Wiss	Zeit	
1/aat/	1	0	1	0	0	in <i>Aktivität</i> umsetzen
1/ahg/	4	0	1	3	0	in/auf <i>Handlung</i> umsetzen
1/ahn/	5	0	2	2	1	in <i>Handeln</i> umsetzen
1/ap/	85	1	22	17	45	in [die] <i>Praxis</i> /ins <i>Praktische</i> umsetzen
1/ar/	10	0	0	3	7	in [die] <i>Realität</i> umsetzen
1/at/	297	26	64	25	182	in [die] <i>Tat</i> umsetzen
1/atg/	1	0	0	1	0	in <i>Tätigkeit</i> umsetzen
1/aw/	36	2	7	6	21	in [die] /zur <i>Wirklichkeit</i> umsetzen
	439	29	97	57	256	

上表は、右側にこの中核的な1/a/グループの8種の基礎名詞を示している。この表には、合わせてテキスト種ごとの事例数を示した。上述のように、これらの基礎名詞はいずれも単数形であり、形容詞等の修飾要素を伴わずに用いられている。基礎名詞として *Praxis*、*Tat*、また *Wirklichkeit* の頻度が高く、この事実から各種の辞典がこれらを語義[1]の用例として取り上げていることに妥当性のあることがわかる。

なお、表左端の1/ap/ (*Praxis* の場合)、1/at/ (*Tat* の場合)などは事例分類後のソートのための識別子であり、1が語義[1]を、aが中核グループを、aに続くpやtが基礎名詞の頭文字等を表している。右に示した実際の出現例の中で定冠詞が[die]となっているものは、これらの基礎名詞には無冠詞の事例も見られることを示す。1/a/グループでは、動詞句 *in die Praxis/Tat umsetzen* などがひとつの単位として、「実施に移す、実行する」を表すイディオムの表現になっていると考えられる。

#### 2.4.2.2 付随用法(2)：周縁的な1/b/グループ

次の表3は、1/b/グループの分布と頻度を示している。この1/b/グループには、中核グループと同じ8種の基礎名詞 (*Aktivität*、*Handlung*、*Handeln*、*Praxis/das Praktische*、*Realität*、*Tat*、*Tätigkeit*、*Wirklichkeit*)のほか、近接的な意味の *Anwendung*、*Aktion*、*Tun*、*Tatsachen*、*Vornahmen* を加えた13種の基礎名詞が、中核的な用法から大なり小なり逸脱的に用いられていると考えられる例を、周縁的なグループとしてまとめた。<sup>7</sup> これらでは、基礎名詞が不定冠詞を伴ったり、複数形で用いられったり、他の名詞と並列したり、形容詞等の修飾成分を伴ったりしている。ここにはまた、これらの基礎名詞が複合第2成分となっているような若干の複合名詞、たとえば *Verwaltungshandlungen*、*Verfassungspraxis*、

Rechtswirklichkeit なども含めた。

事例数は1/a/グループに比べ1/4以下と少ないが、ここには文脈上や表現上の必要性を反映して多彩なバリエーションが見られ、興味深い。人間の言語表現にはイディオムのな定型表現だけでは十分でなく、多種多様なバリエーションが求められることの反映であると考えられる。なお、事例数3以上の場合、表右には収まりきらないため、事例は表下に列挙した。

表3：1/b/グループの事例—分布と頻度—

	事例数	Bell	Gebr	Wiss	Zeit	
1/ban/	7	0	1	4	2	<i>Aktion</i> (事例↓)
1/bat/	4	1	1	2	0	<i>Aktivität</i> (事例↓)
1/bag/	1	0	1	0	0	in <i>die praktische Anwendung</i> umsetzen
1/bhn/	5	0	3	1	1	<i>Handeln</i> (事例↓)
1/bhg/	14	0	4	6	4	<i>Handlung</i> (事例↓)
1/bp/	8	0	2	4	2	<i>Praxis</i> (事例↓)
1/br/	3	0	1	0	2	<i>Realität</i> (事例↓)
1/bte/	33	7	8	1	17	<i>Tat</i> (事例↓)
1/bts/	2	0	0	0	2	in <i>Tatsachen/spürbare Tatsachen</i> umsetzen
1/btn/	2	0	0	2	0	in ein <i>Tun/äußeres Tun</i> umsetzen
1/bv/	1	0	0	1	0	in <i>echte Vorhaben</i> umsetzen
1/bw/	13	3	5	2	3	<i>Wirklichkeit</i> (事例↓)
	93	11	26	23	33	

**Aktion (1/ban/)**: in *Aktion*, Stoß und Zusammenprall; in politische *Aktion*; in die gewohnte *Aktion* und die physische Erfüllung; in *Aktionen*, in konkrete/wirkliche *Aktionen* umsetzen

**Aktivität (1/bat/)**: in Energie, *Aktivität*, Aggression; in weitere massenhafte *Aktivität*; in Muskelaktivität; in suchende Verhaltensaktivitäten umsetzen

**Handeln (1/bhn/)**: in lebendiges/politisches/politisch-soziales/zielgerichtetes *Handeln*; in ein kalkuliertes, unpersönliches, objektiver Nachprüfung zugängliches, situationsunabhängiges Organisations*handeln* umsetzen

**Handlung (1/bhg/)**: in eine *Handlung*; in eine zweckmäßige *Handlung*; in *Handlungen*; in *Handlungen* und konkrete Taten; in Gedanken und *Handlungen*; in *Handlungen* schwerster Art; in konkrete und spannende/motivierte/wirksame *Handlungen*; in Recht, d. h. in rechtserhebliche Verwaltungshandlungen umsetzen

**Praxis (1/bp/)**: in politische/revolutionäre *Praxis*; in die alltägliche/betriebliche/kirchliche/literarische/parteiorganisatorische *Praxis*; in ihre Verfassungs*praxis* umsetzen

**Realität (1/br/)**: in lebendige *Realität*; in die politische *Realität*; in die *Realität eines gerechten und dauerhaften Friedens* umsetzen

**Tat (1/bte/)**: in Taten (Thaten); in aktuelle/helfende/kollektive/lebenskräftige/praktische/preiswerte/

wirtschaftspolitische *Tat* (*That*); in die wirksame/sozialistische/entscheidende/blutige/revolutionäre *Tat*; in *Taten* voll Glanz; in *Taten* und *Tätigkeiten*; in konkrete Verpflichtungen und *Taten*; in die gesellschaftliche *Mordtat*; in eine *Gewalttat* umsetzen

**Wirklichkeit (1/bw/)**: in filmische/körperliche/lebendige/lebensvolle/römisch gelebte und doch ideale/tobende *Wirklichkeit*; in die praktische *Wirklichkeit*; in *Wirklichkeiten*; in praktische *Wirklichkeiten*; in greifbare *Wirklichkeit* und die Praxis des täglichen Lebens; in Wahrheit und *Wirklichkeit*; in die Rechtswirklichkeit umsetzen

#### 2.4.2.3 非付随用法：1/#/

以上の付随用法が合計532例（439例+93例）であるのに対し、前置詞句を伴わず、*umsetzen* 単独で「実施に移す、実行する」を表す非付随用法は、合計125例であった。

表4：非付随用法（1/#/）の事例—分布と頻度—

事例数	Bell	Gebr	Wiss	Zeit	
1/#/	125	3	46	15	61

#### 2.4.3 付随用法（1/a/ + 1/b/）と非付随用法（1/#/）の推移

次表5は、以上で見えてきた語義[1]の付随用法（1/a/、1/b/）と非付随用法（1/#/）の推移を、DWDS 中核コーパスがカバーする20世紀100年間を10年ごとに区切って見たものである。なお、右端の「その他」は、語義[1]以外、すなわち *L-DaF* の語義[2]～[6]<sup>8</sup>に分類される事例の頻度を示している。

表5：付随用法と非付随用法の推移—時間軸—

	事例数	1/a/	1/b/	a+b 合計	1/#/	その他
1900-1909	138	16	18	34	0	104
1910-1919	115	22	5	27	0	88
1920-1929	143	58	8	66	1	76
1930-1939	160	42	8	50	1	109
1940-1949	294	67	3	70	1	223
1950-1959	125	39	7	46	0	79
1960-1969	126	35	7	42	4	80
1970-1979	203	77	13	90	10	103
1980-1989	148	40	18	58	16	74
1990-1999	243	43	6	49	92	102
	1695	439	93	532	125	1038

この表5からは、付随用法（1/a/ + 1/b/）が多少の凸凹はあってもいずれの時代区分でもほぼ平均して用いられているのに対し、非付随用法（1/#/）は1970年代以降、10例→16例→92例と急激に多用されるようになってきていることが見て取れる。

また、次表6からは、語義[1]の事例が付随用法(1/a/ + 1/b/)、非付随用法(1/#/)のいずれでも新聞(Zeit)に最も多く(289例、61例)、次に実用文(Gebr)に多い(123例、46例)ことがわかる。このことは、「実施に移す、実行する」という語義とテキスト種との意味的関連性からある程度予想されることである。上述の1970年代以降の非付随用法の増加は、やはりこの2つのテキスト種において顕著である(Zeit: 3→8→43例、Gebr: 6→6→34例)。

表6: 付随用法と非付随用法の分布と推移—テキスト種—

	事例数	1/a/ + 1/b/				1/#/			
		Bell	Gebr	Wiss	Zeit	Bell	Gebr	Wiss	Zeit
1900-1909	34	7	5	10	12	0	0	0	0
1910-1919	27	2	7	2	16	0	0	0	0
1920-1929	67	0	22	11	33	0	0	0	1
1930-1939	51	11	2	7	30	0	0	0	1
1940-1949	71	2	27	3	38	0	0	0	1
1950-1959	46	2	9	9	26	0	0	0	0
1960-1969	46	1	5	10	26	1	0	1	2
1970-1979	100	2	17	11	60	0	6	1	3
1980-1989	74	5	13	9	31	0	6	2	8
1990-1999	141	8	16	8	17	2	34	11	45
	657	40	123	80	289	3	46	15	61

以上、語義[1]の付随用法(1/a/ + 1/b/)では、「実施に移す、実行する」を表す前置詞句が*in die Praxis/Tat*だけでなく、さまざまなバリエーションを伴って多種多様であることを見てきた。また、付随用法が20世紀の100年間、いずれの時代区分でも平均的に用いられているのに対し、非付随用法(1/#/)は1970年代以降に多用されるようになってきたことも確認された。これにより、本稿の研究課題である「20世紀のドイツ語の展開の中でこの付随用法と非付随用法がどのように推移してきたか」は、一応解明されたことになる。

しかし、意味による分類には困難を感じる事例が多く、冒頭で触れたように、付随用法ではどこまでが語義[1]に属する前置詞句と判断すべきであるのか、また非付随用法では、前置詞句が伴っていないことからおおよそ「実施に移す、実行する」の意味範囲の確定に迷うことが多かった。この意味で、上の各表の数字は大まかな推移を確認するためには十分であるとしても、確定したものではないことに注意が必要である。

### 3. 今後の課題

*umsetzen*の事例分類に際しては、いろいろな困難に遭遇した。本稿では、それらの問題をもう少し具体的に、立ち入って取り上げるつもりであったが果たせなかった。最後に、そのうち、以下の3点を今後より細かな検討を要する課題として挙げ、本稿の締めくくりとしたい。

本文中で述べたように、付随用法のうちの中核的な1/a/グループの事例は、表現が全体として「実施に移す、実行する」を表すイディオムとして機能していると考えられる。これに対し、周縁的な

1/b/ グループの事例はイディオムではなく、不定冠詞付きの用法 (*in eine Handlung, in ein Tun umsetzen*)、複数形の用法 (*in Aktionen, in Taten, in Wirklichkeiten umsetzen*)、修飾要素を伴った用法 (*in aktuelle/helfende/kollektive Tat umsetzen*)、他の名詞と並列された用法 (*in Taten und Tätigkeiten umsetzen*)、複合語第2成分としての用法 (*in die gesellschaftliche Mordtat, in ihre Verfassungspraxis umsetzen*) など、それぞれの基礎名詞が独自の色合いを主張しつつ用いられているように思われる。残された課題の1点目は、これら1/b/ グループの事例の精査、および1/a/ グループとの対比の明確化である。

2点目は、付随用法、特に1/b/ グループの事例と、「変化後」が明示されているという点で共通する6//の一部の事例の間の意味的連続性をより明確に捉えることである。語義[6]は「何かを何か別のものに変える、変換する」という意味で括られており、現行の辞書記述では語義[1]～[5]に分類されなかった残りがすべてここに集められているという印象がある。この中には、*diese Politik in die Tat umsetzen* (1/a/) / *politisch umsetzen* (1/#/) / *in politische Aktion umsetzen* (1/b/) / *in konkrete Politik umzusetzen* (6//)、*die notwendigen Maßnahmen in die Tat umsetzen* (1/a/) / *in konkrete Maßnahmen umsetzen* (6//) のような連続性の感じられるような表現が含まれており、精査・整理が求められている。

3点目は、7/k/ の事例の精査である (k = *Kunst*)。美術・建築・演劇・音楽関係の文脈における *umsetzen* の事例には、たとえば下例のような、前置詞句による「変化後」の明示がなく、そのため1/#/に分類すべきか迷う例が多い。『独和大辞典』にもふさわしい記述・訳語が見当たらず、多くは分類を当面保留(7//)した。今後の精査が必要である。

*seine kühne Bauidee umsetzen/die Prinzipien der antiken Dramentheorie* (Aristoteles) *in der bild. Kunst des Barocks umsetzen/die Erfahrungen der 20er Jahre* schöpfer. *umsetzen/den Jingle umsetzen*

## 注

- 1 DWDSで抽出される事例には、指定した順(昇順/降順)に自動的に番号が割り当てられる。本稿では、引用する事例にこの番号、出典年月日とテキスト種の情報を掲示する。同じ検索式で検索を行えば同じ番号が振られるため、事例の確認・検証は容易である。
- 2 DWDS中核コーパスについては、<https://www.dwds.de/d/korpora/kern>を参照。
- 3 同じ動名詞化でも *Umsetzung* は語形が異なるため、抽出対象には含まれていない。
- 4 「ドイツ語コーパスハンドブック2009」p.88参照。
- 5 実際には該当事例数がこれより多く、全体で1955例であることが示される。しかし、差の240例(1955例-1715例)は著作権の関係から開示されず、利用することができない。
- 6 逆に、*um* が指定範囲(「#15」)を超えており、そのため *umsetzen* の事例でありながら拾えない場合もありうる。#15はしかし、試行的に#10から#20までを変えながら検証した結果、妥当な結果が得られると思われたことから採用したものであり、こぼれた可能性のある事例は、あるとしても分析結果に影響するほど多くはないと考えられる。
- 7 1/b/に分類される *Tätigkeit* の事例は、*Tat* に並列した2番目の要素として用いられた1例のみ

である (in *Taten und Tätigkeiten umsetzen*)。このため表 3 には、*Tat* の事例に含めて扱い、*Tätigkeit* (1/btg/) の項目は立てていない。

- 8 分類に際して文脈が十分に確認できず「(当面) 保留」とした例は、「7//」として分類した。表 5 の「その他」には、この保留例 (60例) も含まれている。語義[2]~[6]、および[7]の分布と頻度は、以下のとおりである：

表：「その他」の事例—分布と頻度—

	事例数	Bell	Gebr	Wiss	Zeit
2//	104	2	16	14	72
3//	10	2	6	0	2
3/t/	4	0	4	0	0
4//	62	3	46	9	4
5//	53	7	23	13	10
6//	516	49	122	258	87
6/c/	227	0	13	214	0
6/k/	2	0	0	2	0
	978	63	230	510	175
7//	30	4	7	11	8
7/k/	30	0	2	26	2
	60	4	9	37	10

#### 参考文献・辞典

Langenscheidt Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache, Neubearbeitung 2019

小学館 独和大辞典〔第2版〕コンパクト版, 2007.

成田節・カンミンギョンほか：ドイツ語コーパスハンドブック 2009, 東京外国語大学グローバル COE プログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」論文執筆支援シリーズ, 2009.